

学校だより 3つの「あ」×3つの「ことば」

けいせい

帯広市立啓西小学校

どんでん(活動する子)

わくわく(感動する子)

いきいき(表現する子)



令和8年5月8日発行

おびひろ市民学がスタートしました！

「おびひろ市民学」は、ふるさとの自然環境や歴史、文化、産業、地域住民とのかかわりを通して、「ふるさと帯広」に対する誇りと愛着を育み、地域社会の一員として、よりよい地域づくりに関わる子どもを育てることを目的として、令和2年度より全市内の小中学校において実施されております。学校外の専門家が講師として教室を訪れ、子ども達が興味・関心をもって取り組めるよう、体験を中心とした学習を行っています。これまでに実施した「おびひろ市民学」の一部の取組を紹介いたします。

(1) 食育指導

市の食育専門指導員の方が来校し、食事のマナーや地元食材を扱った料理や、体の調子を整えるための献立など、クイズなどを交えながら楽しく学びました。毎日の食事が、自分たちの健康にどのように影響するのかを、わかりやすく学ぶことができていました。

(4月は、1年生と6年生を対象に実施しました。)



(2) ダスキン出前授業

株式会社ダスキンの方が来校し、掃除のことについて学習します。今年度は1年生を対象に実施しました。学習では、「なぜ掃除をするのか」という掃除の意義について、1年生の子ども達にわかりやすく説明した後に、実際に掃除用具を使いながら、正しい掃除の方法を学んでいきます。特に、雑巾の絞り方「たて絞り」は、とても覚えやすく、子ども達もすぐにやり方を理解して、取り組んでいたようです。



(3) 租税教室

講師に税理士の方をお迎えし、6年生を対象とした租税教室を行いました。税金の仕組みについては6年生の社会科の時間に学習することになっていますが、映像資料を用いて、子どもたちにわかりやすく説明していただきました。本当の一億円の束と同じ重さの二セのお札を持つ体験もしました。税金と税理士の仕事の内容を学ぶ貴重な機会となりました。



※ 「おびひろ市民学」は、今後も、各学年のカリキュラムに応じて、随時実施していきます。

グラウンドに、子ども達の元気な声が響いています！

グラウンドの転圧作業が終わり、休み時間になると、グラウンドに子ども達の元気な声が響くようになりました。また、体育の授業も、現在は、運動会に向けて短距離走などに取り組んでいます。

子供たちが安全に体を動かすことができるよう、運動に適した服装や靴の準備、また、これからは気温の高い日もありますので、気温に合わせて着脱できる服装や水分補給のための水筒、汗を拭くためのタオルの準備など、ご家庭のご協力をお願いいたします。



大型連休が明けて…

長い大型連休が明けました。子どもたちは久しぶりの登校で、楽しい思い出と共に、少しの緊張や疲れを抱えているかもしれません。(朝の見守りの際にも、「ちょっと元気がないな…」と感じる子供の表情も見受けられました。)連休明けのこの時期は、環境の変化に対応しようと、子供なりに心と体に負担がかかりやすい時期でもあります。

つきましては、ご家庭におかれまして、以下の点について子供の様子を気にかけていただき、穏やかに過ごせるようご配慮をお願いいたします。

① 生活リズムの確認（早寝・早起き・朝ごはん）

連休中の夜更かしや朝寝坊が続いている場合、学校生活のペースに戻るまで数日かかります。無理に急がせず、少し早めに布団に入るなど、お子さんの生活リズムの回復について、サポートをお願いいたします。

② 「身体の疲れ」サインのチェック

連休の疲れから、「頭が痛い」「お腹が痛い」など、心身の不調を身体の痛みとして訴えることがあります。いつもと違う様子があれば、無理に登校させず、家庭で休養をとらせてください。



③ 「心の負担」への寄り添い

「学校に行きたくない」「何だかだるい」といった言葉が出たときは、否定せずに話を聞いてあげてください。連休の楽しかった思い出を聞くなどして、安心感を与えることが大切です。

学校においても、担任をはじめ職員一同、子供たちが元気に、安心して学校生活を送れるよう丁寧に見守ってまいります。なお、各学級においては、個人面談も行われておりますので、何か気になる様子がございましたら、学校(担任)までご相談ください。